令和３年度
学校だより
ＮＯ．７
Ｒ３．９．３

南小っ子

かしこく　なかよく　げんきよく

甲府市立中道南小学校
（児童数７４名）
編集 校長 小林 和仁

２学期がスタートしました

長い夏休みが明け、２学期がスタートしました。今年は３７日間という２年ぶりに長い夏休みとなりました。２７日の始業式の日、早朝でも残暑厳しい中で登校してくる子どもたちを迎えました。長い休み明けと連日の暑さから来る疲れがわずかながら見て取れましたが、久しぶりの学校で友だちに会えるという嬉しさによる笑顔の方が勝っていました。

始業式では子どもたちに２つの話をしました。１つは「東京オリンピック」の話題です。世界３位の２７個の金メダルと５８個の全メダルの獲得数、日本では史上最高の数でしたが、その中には笑顔もあれば涙もありました。人々を感動させる活躍の裏には選手の強い思い（信念）があり、重い病気を克服して復帰した水泳の池江璃花子選手は、**「努力は必ず報われる」**、１３年ぶりにオリンピックの女子ソフトボールのマウンドに立った上野由岐子選手は、**「あきらめなければ夢は叶う」**と、その思いを言葉に表していました。今日から２学期が始まり、勉強や行事など、学校生活で難しいことがあるかもしれないけれど、**あきらめず、努力することを忘れずにがんばっていきましょう**、と話しました。現在「パラリンピック」が開催されています。子どもたちが更に学べる機会になればと思っています。

２つ目は「コロナの感染予防」についてです。「なぜ、教室の中には半分の友だちしかいないんだろう」と問いかけ、今、１０歳未満の感染者が急増しているので、１学期よりももっと気をつけなければならないことを話しました。そして、**自分から進んで感染対策ができるようになって、安全で安心な南小をみんなでつくりましょう**、と話しました。

コロナ禍であっても学校における教育活動は行われ、かしこく、なかよく、元気のよい子どもの育成を目指していかなければなりません。「コロナだからできない」のではなく、徹底した感染予防対策をとりながら、**「できることを、できる時に、できるだけ」**行っていきたいと思います。子どもたちの成長のため、２学期もご家庭や地域の皆様方のご理解・ご協力をお願いいたします。

２学期の感染予防対策

冒頭にも書きましたが、現在、山梨県や甲府市のコロナ感染者は、最近減少傾向になったとはいえ、油断できない状況が続いています。９月２日の新聞報道には、「感染力の強いデルタ株の影響もあり、家庭内感染による１０歳未満の感染者が増えている」とあり、感染者の人数が減少したとしても、感染状況の内容が変化し、学校内での感染拡大がこれまで以上に心配されています。

学校では、授業以外の活動制限に加え、より徹底した予防対策として、校舎に入る前の児童の健康チェック、放課後の施設の消毒の強化を行っています。

本日安心メールでもお伝えしますが、お子さん本人のみならず、ご家族のどなたかが、発熱、せき等の風邪症状や体調不良等がみられる場合は登校を控えていただくことになります。兄弟姉妹がいるご家庭で、お子さん一人に症状があった場合は、兄弟姉妹も登校を控えていただくことになりますのでご承知おきください。特にお子さんの健康状態についてはきめ細かく観察していただき、学校内におけるまん延防止へのご協力をお願いいたします。詳しくはメールでご確認ください。

まずは、まん延防止等重点措置期間である１２日までが正念場であると考えています。子どもたちの生命の尊重を最優先に、「がまん」を続け、みんなで一致団結して取り組んでいきたいと思います。

朝の健康チェック

２学期始めの子どもたちの様子です

クラスを半分に分け、１日おきに登校する分散登校をしています。友だちが半分しかいなくてさみしそうな子どももいましたが、少しずつ慣れてきて、笑顔がたくさん見られるようになりました。人数が少ないと、子ども一人一人に関われる時間は増えることになります。クラスの様子を見に行くと、発言の機会を多く取り入れたり、個人への支援に時間をかけられるタブレットを使用する授業をしたりと、工夫をしながら少ない人数を生かした授業を行っていました。分散登校ではありますが、しっかりと２学期のスタートがきれているようです。

１年生の音楽

５年生の社会

学校だよりは、南小ＨＰにアップしております。ぜひご覧ください。 中道南小 検索　もしくは QRコードで